

「Gallery & Café ぜん」 オープン記念コンサート

「いま、はじまりの時」 The Beginning

出演：白谷仁子 神澤智香 岡崎雄子 近藤しほり 原田泰彦

彦根まちなかの本町に
この春「ギャラリー&カフェぜん」が
オープンします。
そのファーストコンサートとして
リードオルガンの音色と
声のハーモニーを
お届けします。
音楽をとおして
つながる人と人
人と街を目指して。

2024年4月13日(土)

会場：Gallery & Café ぜん

〒522-0064 滋賀県彦根市本町2丁目3-45

開演：14:00 (開場13:30) 定員 60人

チケット：前売(予約) 1500円 (当日1800円)

参加ご希望の方は、①音楽企画 湖音 ☎ 090-4300-9616 (白谷)
又は②QRコードからお申込みください。

お申し込み・お問い合わせは、NPO法人ひこね文化デザインフォーラムでも受付いたします。☎ 090-3283-9508 (戸所)

Gallery & Café ぜん 案内 MAP



駐車台数が限られています。詳しくは係員にお尋ね下さい。

共催

音楽企画 湖音/リードオルガンを愛する会
NPO法人 ひこね文化デザインフォーラム

お申込みQRコード▶



オープニングコンサートに寄せて

明治36年（1903年）製造と推定されるヤマハ製リードオルガンは、楽器としてこの世に生まれてから120年、激動の日本を生き続けてきました。縁あって4年前にここ彦根城下町にやってきたオルガンは、この4月から「Gallery & Café ぜん」に置かれることとなり、新たな演奏活動がスタートすることになりました。これまでたくさんの人たちのご協力により、修繕・保守を重ね、美しい音色は守られてきました。

今回は、このリードオルガンにとっても、私たち「風琴」にとっても、新たなスタートの日となります。その思いに因み、コンサートのタイトルを「Beginning」としました。「Gallery & Café ぜん」が地域の人々の交流の場となることを祈り、心を込めて演奏いたします。

2024年4月

音楽企画 湖音 白谷仁子

プログラム

● 第一部 ●

○リードオルガン

神秘の時間 第一ミサ組曲 作品29の1より
「入堂」「奉献」「聖体拝領」 L.Boellmann 曲

○リードオルガン・ピアノ・声楽アンサンブル

6つのモテット 新約聖書/L.Boellmann 曲
1 AVE VERUM (めでたし、真実の御身体よ)
2 INVIOLETA (聖域)
3 O SALUTARIS (おお、救世主よ)
4 MONSTRA TE ESSE MATREM (母なる示し)
5 AVE MARIA (アヴェ マリア)
6 AVE MARIA (アヴェ マリア)

○リードオルガン

オルガンまたはハルモニウムのための《自由な様式
による24の小品》作品31より「前奏曲」 L.Vierne 曲

● 第二部 ●

○リードオルガン・声楽アンサンブル

花 武島羽衣 詩/瀧廉太郎 曲
荒城の月 土井晩翠 詩/瀧廉太郎 曲/山田耕柞 編曲

○リードオルガン

メヌエット 瀧廉太郎 曲

○リードオルガン・声楽アンサンブル・よし笛

あの町この町 野口雨情 詩/中山晋平 曲/信長貴富 編曲
七つの子 野口雨情 詩/本居長世 曲
赤い靴 野口雨情 詩/本居長世 曲
さくら貝の歌 土屋花情 詩/八洲秀章 曲
浜辺の歌 林古溪 詩/成田為三 曲

* 曲目の一部を変更する場合があります。

出演者（風琴）プロフィール（順不同）

●白谷仁子（ソプラノ）

相愛大学音楽学部声楽科卒業。ソリストとして関西フィルハーモニー管絃楽団、エウフォニカ管絃楽団等との共演や、びわ湖ホール、滋賀県立文化産業交流会館、ルッチプラザなどでリサイタルを行ってきた。音楽企画湖音を主宰し、コンサート、コーラス指導にも取り組む。滋賀県米原市在住。

●神澤智香（オルガン/ソプラノ）

京都女子大学音楽教育学専攻声楽コース卒業。滋賀県を中心に福祉活動やコンサートで演奏活動をする傍ら、後進の指導にもあたっている。米原市で音楽教室を主宰。滋賀県米原市在住。

●岡崎雄子（葦笛/メゾソプラノ）

相愛大学音楽学部器楽学科サクソフォン専攻卒業。サクソフォンを赤松二郎氏に師事。滋賀、京都、大阪を中心にデュオリサイタル、学校公演等多数出演。TMC大阪所属。滋賀県東近江市在住。

●近藤しほり（オルガン/アルト）

大垣女子短期大学音楽科ピアノ専攻卒業。ピアノを三橋義晴氏に、日本歌曲の伴奏法を塚田佳男氏に師事。県民クラシックコンサートほかに出演。ピアノ講師をつとめる傍ら、長浜市・米原市のコーラス伴奏者として活動。滋賀県長浜市在住。

●原田泰彦（オルガン/バリトン）

大阪教育大学芸術専攻芸術学コース、同大学院芸術文化専攻修了後、ミシガン州立大学、インディアナ大学音楽学部等で研鑽を積む。バリトンとカウンターテノールという二つの声部を使い分けるといった類稀な声楽家としてその歌声には定評がある。滋賀県彦根市在住。



Photo:Studio Ecole

ヤマハ製リードオルガンについて

明治36年（1903）製造されたヤマハ製リードオルガン。ストップレバーパネルには「YAMAHA ORGAN Co. Hamamatsu」の文字が、裏響板の上には製造番号「65187」が刻印されています。ヤマハ創業者の山葉寅楠は、明治21年（1888）に「山葉風琴製造所」を設立。オルガンの製造を始めるとともに、アメリカでピアノ製造を学び、明治33年（1900）に河合小市（後の河合楽器の創設者）らと日本で最初のアップライトピアノを誕生させました。日本で、リードオルガンが広く普及し始めたのは明治時代20年代。教会や私立のミッションスクールで、外国人宣教師らによって賛美歌の伴奏に用いられました。明治5年（1872）8月の「学制」発布によって「唱歌」が正式科目となり、唱歌・童謡・歌曲の伴奏楽器としてリードオルガンは、音楽教育の場で大きな役割と果たしてきました。

募金の呼びかけ

「リードオルガンを愛する会」では、楽器の保守や修理に必要な資金を市民の皆さまに呼びかけています。コンサートへ参加される機会に募金へのご協力をよろしくお願いします。